

Walker! ~伝えよう、私の調べたまちのこと~

指導者 渡邊 翠大

1 児童観

本学級は、1年女子1名（A児）、5年男子1名（B児）の計2名の自閉症・情緒障害特別支援学級である。

- A児は、学年相応の学力を有している。行動はゆっくりだが、指示をしっかりと聞き、活動に取り組むことができる。音読や文字の書き取りなど雑になることがある。また初めてやることに對し、緊張し黙ってしまうこともある。
- B児は、語彙が少なく単語、2語文で話すことが多い。日常生活でも、自分の気持ちや状況を分かりやすく説明することが困難である。学習の場面でも、言語指示が長くなると集中を持続できなくなり、教師が傍で考え方を示したり、活動内容を確認したりする必要がある。

2 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第1学年及び第2学年の「A話すこと・聞くこと」、第5学年及び第6学年の「B書くこと」「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

- A (1) イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。
エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
- B (1) エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。
- C (1) イ 目的に応じて、本や文章を読み比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

(1) 単元観

○A児

本単元は、大事なことを落とさないように聞き、相手に正しく報告する単元である。本単元で行う、聞いたことを身近な人に伝える活動は、児童が聞き手に正しく分かってもらうにはどうすればよいか考えるのに適しており、主体的に聞き、話すことが可能となる。本単元の学習を通して、話す力・聞く力を育てていく。

○B児

本単元は新聞記事を読み比べ、言葉と写真や図などの資料とを関連付けながら書き手の意図を読み取ることが目的としている。また、二つの記事の見出しや写真を比べることで、書き手の工夫や良さを考えることができるようになっている。本単元の学習を通して、書き手の意図を、文章や図表を交えながら効果的に伝える方法を学ぶことができるようになっている。

(2) 指導観

○A児

本単元では、単元計画の中に自分の見つけたものを進んで他者に伝える活動を設定する。伝える内容を考える段階では自立学習と関連させ、学校の周りにあるものに注目させる。クラスの友達に発表する場を設定することにより、学習意欲をもたせたり、児童が大事なことを落とさず聞くことの必要性を感じさせたりする。調べたり、聞き取ったりしたことは Walker ブックにまとめさせ、発表させることで話す力の育成につなげていく。

○B児

本単元を通して、児童が自分の考えや調べたことを分かりやすく他者に伝えることができるようにしていく。社会科の学習と関連付けさせ、自分が調べたことを Walker ブックにまとめさせ、クラスの友達に発表させることを、単元を貫く言語活動と設定する。そのために書き手の意図を伝えるための方法（文章の構成、図表との関連など）を教材文から学習させる。

(3) 単元でめざす児童の姿

○A児

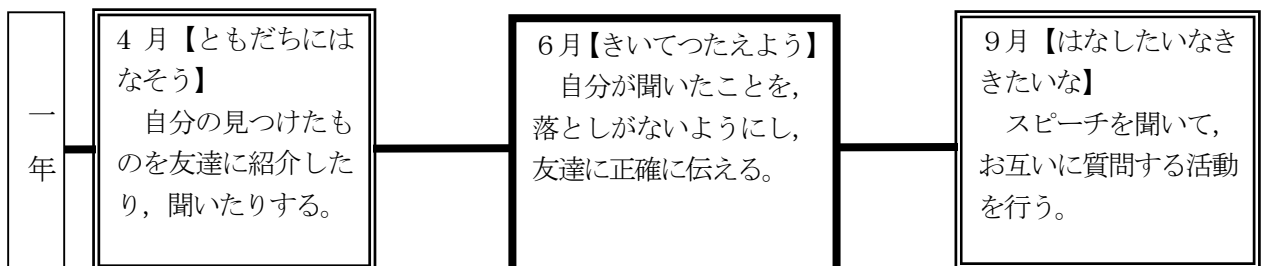
- ・調べた事をまとめ、進んで伝えようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- ・伝えたいことを落とさず、相手に伝わる声で発表する。(話すこと・聞くこと)

○B児

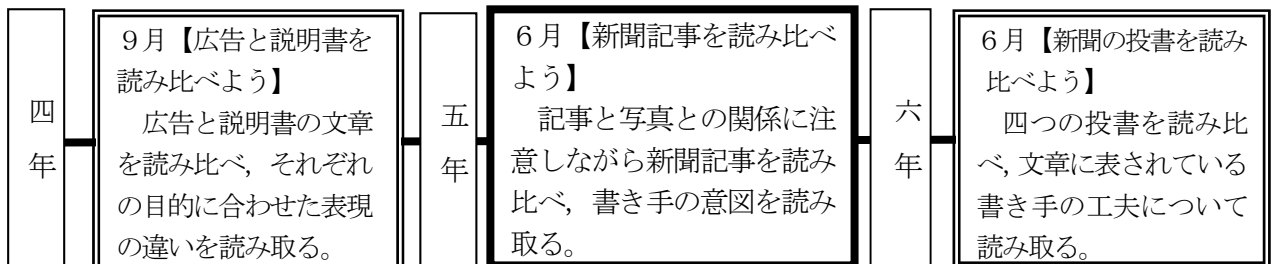
- ・Walkerブックを作るために、進んで記事を読み、書き方の工夫を考えている。(国語への関心・意欲・態度)
- ・見出しやリード文など、書き手の意図を伝えるための工夫をとらえている。(読むこと)
- ・話のまとまりに気をつけて、見出しや図表と関連させ、読み手に分かりやすい文章を書いている。(書くこと)

3 領域「読むこと」の系統、「話すこと・聞くこと」の系統

○A児



○B児



4 単元の評価規準

○A児

	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
評価規準	みんなの前で話す活動に、意欲的に取り組もうとしている。	大事なことを落とさないように聞いて、相手に伝えている。	聞いたことを伝える言葉の働きに気付いている。

○B児

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力
評価規準	雑誌づくりに興味をもち、意図を読み取ったり、積極的に意図を伝えようとしていたりしている。	記事の書き方の特徴や役割を知り、ねらいや構成などを読み取っている。	記事の内容や写真に合う見出しや文章を書き、自分の意図が伝わるように、調べたことを文章にまとめている。

5 本単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

○A児

本単元において、見学したことを Walker ブックにまとめ、発表する活動を通して、自分の体験や感情を適切に伝える力を育成できると考える。

○B児

本単元において、調べた事を Walker ブックにまとめ、発表する活動を通して、目的に応じ、順序やまとまりを考える力、自分の思いや考えを、見出しやリード文などを活用して分かりやすく表現する力を育成できると考える。

6 指導計画 (全7時間)

○A児

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">課題の設定</div> 自分の町について調べ、報告するという学習課題を確かめる。(1)	・ 学習課題に興味をもち、これからの学習の進め方を考えている。 【関・意・態】(行動観察)	
二	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> 正しく伝えるために、気をつけることを確認する。(3)	・ 聞き方や伝え方を理解し、大事なことを落とさず聞き取り、調査活動を行っている。 【話す・聞く】(行動観察)	・ 相手の心情や考えを共感的に理解している。 (行動観察)
三	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">まとめ・創造・表現</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふりかえり</div> 調べたことを生かして Walker ブックにまとめる。(2) 自分たちの Walker ブックについて発表する(1) (本時7/7)	・ 聞き取った内容を落ちがなく、相手に正しく伝えようとしている。 【話す・聞く】(制作物)(行動観察) ・ 聞いたことを伝える言葉の働きに気づいている。 【言語】(ワークシート)	・ 体験や活動をもとに、自分の思いを適切に表現している。 (行動観察)

○B児

次	学習活動	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">課題の設定</div> 書き手の意図を伝えるための工夫を知るという学習課題をつかむ。(1)	・ 記事について関心をもち、進んで書き手の意図を読み取ろうとしている。 【関・意・態】(行動観察)	
二	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> 書き手の意図を伝えるための工夫について調べる(3)	・ 記事の特徴や役割を知り、構造や見出し、写真の役割などを読み取っている。 【読む】(ワークシート)	・ 伝えたいことを整理し、自分の思いや考えを伝える工夫を読み取っている。 (行動観察)
三	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">まとめ・創造・表現</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふりかえり</div> 調べたことを生かして Walker ブックにまとめる。(2) 自分たちの Walker ブックについて発表する。(1) (本時7/7)	・ 表現を工夫し、自分の意図が相手に伝わるように文章にまとめている。 【書く】(制作物)(行動観察) ・ 自分の考えを積極的に伝えようとしている。【関・意・態】(行動観察)	・ 順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現している。 (ワークシート)(行動観察)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

A児 聞き手に分かりやすい発表の仕方、調べたことを発表する。

B児 調べた事を、図表や見出しを効果的に活用しながら、相手に伝わるように発表する。

(2) 観点別評価規準

A児 大事なことを落とさないように相手に伝えている。【話すこと・聞くこと】

B児 記事の内容や写真に合う見出しや文章を書き、自分の意図が伝わるように、文章にまとめている。【書くこと】

(3) 学習の展開

学習内容	指導上の留意点（・）と支援（◆）		評価規準（評価方法） 教科の指導事項（○）
	A児	B児	
1 前時の振り返りをする。	Walker ブックを完成させ、発表しよう。		
2 本時の流れと課題の確認をする。	千光寺で見つけたものの名前や様子を、千光寺 Walker を使い、発表しよう。	図や表、見出しを使いながら、海津市 Walker を発表しよう。	
3 Walker を仕上げる。	◆ 発表原稿を音読させ、ものの名前や色、形、目的など未記入箇所を書き加えさせる。	◆ 記事を音読させ、記事にあった見出しや写真を考えさせる。	
4 発表の準備をする。	◆ 説明がしやすいように、作った Walker の掲示補助を行う。 ・ 準備が整ったことを確認して始める。 ・ 失敗したときはやり直せばよいことや、言い間違えたときはやり直せばよいことを事前に確認しておく。 ・ お互いの発表の補助をさせる事で、集中して発表できるようにする。		A児 ○ 大事なことを落とさないように相手に伝えている。 【話すこと・聞くこと】 (行動観察)
5 発表をする。			B児 ○ 記事の内容や写真に合う見出しや文章を書き、自分の意図が伝わるように、文章にまとめている。 【書くこと】(行動観察)
6 振り返りをする。	・ 見出しの言葉や写真を選んだ理由を話させることにより、児童の思いや考えを効果的に伝えることができたか振り返らせる。 ・ 目標が達成できたか分かるようにそれぞれのワークシートで確認する。	・ 書き加えた名前、形、目的などを振り返らせることで、大事なことを落とさず伝えられたか考えさせる。	